

1 電信大喜利！「海のドラマ～タイタニック号のSOS～」

太田 現一郎(おおた げんいちろう)

1968年 早稲田大学 電気通信学科卒
2005年～2015年 早稲田大学 大学院 客員教授
2005年～(株)横須賀テレコムリサーチパーク在職
2014年～無線歴史展示室開設 室長
2016年～文部科学省スーパーサイエンスハイスクール
委嘱講師(神奈川県立横須賀高等学校)
工学博士(国際情報通信学)
第1級陸上無線技術士



毛利 邦彦(もうり くにひこ)

1971年 早稲田大学理工学部 電気工学科卒
2006年～2015年 東京海洋大学客員教授
2015年～ 毛利塾 塾長



安池 尋幸(やすいけ ひろゆき)

1953年新潟県生まれ
國學院大学大学院文学研究科・修士
1982年～横須賀市教育委員会・横須賀市自然・人文博物館学芸員

【主な著作】

- 博物館を中心に。地域研究テーマを多数発表
- 『幕末維新时期横須賀製鉄所建築群の総合研究-西洋技術導入の実証的研究-』2012.06 私家版
 - 安池尋幸「漁場と暮らし」『新 横須賀市史 通史編 近世』横須賀市役所:2011.03.
 - 安池尋幸監修・半島史研究会編:『新稿 三浦半島通史』文芸社:2005.12.
 - 日本近世の地域社会と海域. 巖南堂書店:1994.03



2 講演会「知らなかった、はじめてのアートとテクノロジー」

高田 壽八郎 (たかた じゅはちろう)

1948年 東京生まれ

1975年 東京芸術大学美術学部油画科卒業

1977年 東京芸術大学大学院修了

1979年 同大学美術研究科デザイン専攻研究科修了

1980年 マックス・ベックマン奨学金取得後渡米。Brooklyn Museum Art School in Painting に入学。以後 28年間米国に居住。プラット美術学校プラット・グラフィック・センター版画科修了後、日米で展覧会活動を継続。一時帰国時、東京芸大、愛知芸大、造形美術大学他、主要な芸術大学等で講義・講演。

2007年 米国より帰国

2008年-2014年 了徳寺大学芸術学部教授、女子美術大学、東京家政大学に非常勤講師勤務。2014年-2018年 放送大学非常勤講師。現代美術必然的出現要因、米国文化芸術促進に関する授業を通し 21世紀型芸術を概説。芸術と健康などをテーマに授業を行う

2019年 放送大学非常勤講師、「芸術と健康」を担当。現代美術自主ゼミを開催



3 トークイベント「頽廃放浪記」

星野 藍 (ほしの あい)

<職業>

グラフィック&UI デザイナー、写真家、書道家、イラストレーター
福島県福島市出身

従姉の死、軍艦島へ渡ったことをきっかけに廃墟を被写体として撮影を始める。廃墟のほか怪しい場所、未承認国家にソビエト連邦など、好奇心の俣に国内外を縦横無尽に徘徊する。

2017年、星野藍 廃墟写真集『幽幻廃墟』(株)三オブックス
上梓。

<http://21152.blog2.fc2.com/>

